

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成24年10月25日(2012.10.25)

【公開番号】特開2011-57415(P2011-57415A)

【公開日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2009-211124(P2009-211124)

【国際特許分類】

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 37/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月10日(2012.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

処理されるシートが集積される処理トレイと、
前記処理トレイに集積されたシートに綴じ処理を施す綴じ装置と、
前記綴じ装置を案内する案内部材と、
前記綴じ装置を前記案内部材により案内させながら綴じ位置に移動させる移動機構と、を
備え、

前記案内部材は、前記綴じ装置をシートの一辺に沿って案内するための第 1 の案内部材と
、前記第 1 の案内部材に案内された前記綴じ装置を案内するとともに、前記第 1 の案内部材
により案内されている状態の前記綴じ装置に対して傾斜した傾斜位置に前記綴じ装置を
移動可能な第 2 の案内部材と、を有し、

前記綴じ装置が前記移動機構によって前記第 2 の案内部材に達した後、前記第 2 の案内
部材を前記綴じ装置と一体的に移動させることで、前記綴じ装置を、前記傾斜位置に傾斜
させる傾斜機構と、

を備えたことを特徴とするシート処理装置。

【請求項 2】

前記第 2 の案内部材は、前記第 1 の案内部材の側方に位置する揺動軸を支点として揺動
するように構成されることを特徴とする請求項 1 記載のシート処理装置。

【請求項 3】

前記傾斜機構は、前記移動機構に固定され、シートの一辺に対して交差する方向に延び
た長孔を有する連結部材と、前記綴じ装置に設けられ、前記連結部材の長孔に係合する係
合片とを有し、前記綴じ装置が前記第 2 の案内部材に達した後、前記連結部材の移動に伴
って前記係合片が前記連結部材の長孔に沿ってシート側に移動することにより、前記第 2
の案内部材と前記綴じ装置とが一体的に移動し、前記綴じ装置が傾斜することを特徴とす
る請求項 1 又は 2 記載のシート処理装置。

【請求項 4】

前記綴じ装置が前記移動機構によって前記第 2 の案内部材から前記第 1 の案内部材の方
向に移動する際、前記傾斜機構により、前記第 2 の案内部材と前記綴じ装置とを一体的に
前記第 1 の位置に移動させることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の
シート処理装置。

【請求項 5】

シートの一边に複数の綴じ処理を施す複数箇所綴じモードと、前記シートの一边の角部に対して斜めに綴じ処理を施す端綴じ処理モードとを実行する制御部を備え、

前記制御部は、端綴じモードを実行する際、前記綴じ処理を施す前に前記綴じ装置を前記案内部により案内させながら綴じ位置に移動させるよう前記移動機構を制御することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置。

【請求項 6】

シートに画像を形成する画像形成部と、前記画像形成部により画像が形成されたシートを処理する請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のシート処理装置と、を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、シート処理装置において、処理されるシートが集積される処理トレイと、前記処理トレイに集積されたシートに綴じ処理を施す綴じ装置と、前記綴じ装置を案内する案内部と、前記綴じ装置を前記案内部により案内させながら綴じ位置に移動させる移動機構と、を備え、前記案内部は、前記綴じ装置をシートの一边に沿って案内するための第 1 の案内部材と、前記第 1 の案内部材に案内された前記綴じ装置を案内するとともに、前記第 1 の案内部材により案内されている状態の前記綴じ装置に対して傾斜した傾斜位置に前記綴じ装置を移動可能な第 2 の案内部材と、を有し、前記綴じ装置が前記移動機構によって前記第 2 の案内部材に達した後、前記第 2 の案内部材を前記綴じ装置と一体的に移動させることで、前記綴じ装置を、前記傾斜位置に傾斜させる傾斜機構と、を備えたことを特徴とするものである。